

■今年度の活動内容設定時に参考とした「他校の環境に関する取組」 生徒への幅の広い環境教育、節電節水や紙の節約などの省エネルギー活動を参考にした。					■今年度のグリーンカーテン実施状況 (朝顔、ゴーヤ、ヘチマなど) <input type="checkbox"/> 実施した <input checked="" type="checkbox"/> 実施していない		
取組テーマ	取組目標	具体的な活動内容		担当者	活動主体	取り組んだこと、その実績	1年を振り返って
環境学習の推進	環境学習を通して、環境問題に関心を持つとともに、日常生活に潜む問題が、地球規模の問題と深く関係していることを理解し、地球環境の保全に努めます。	1	SDGs について学び、世界で起きている事象を知り、環境問題に関心を持ち、理解を深めた。	3年英語科教員	3年生	英語の教科書を通して、一人ひとりが世界で起きている事象を知り、持続可能な世界について関心を持った。 課題解決学習の中で、環境というテーマを選択した生徒が地球温暖化や再生可能エネルギーについて調べ、1,2年生に発表した。環境問題をより身近にとらえ、日常の生活と環境問題を関連付けて考えることができた。 日本で唯一の海岸清掃を専門とする【公益財団法人かながわ海岸美化財団】に協力してもらい、生徒会主催による海岸清掃を行った。また、3年生は卒業前の3月にボランティア活動の一環で海岸清掃を行った。	【取組の評価】 ■達成できた <input type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 多様な環境問題が今日の日常生活にどのような影響を及ぼしているのかを深く知るとともに将来の地球環境について考えることで、環境問題に対する関心の高まりが見られた。また、多くの生徒の海岸清掃ボランティアへの参加があった。 【今後の課題】 英語以外の教科や総合や道徳で環境問題を扱い、生徒、教職員ともに環境問題への関心を高めていく必要がある。 【次年度への引継ぎ事項】 今年度の取り組みを踏まえ、次年度の内容を企画していく。
		2	課題解決学習(3年生)の中で、環境というテーマを設定し、興味ある内容について調べ、1,2年生に発表した。	3年担当教員	3年生		
		3	地域の海岸清掃を通して、身近な環境に関心を持ち、保全に努めた。	生徒会担当教員 3年担当教員	生徒		
省エネルギー、廃棄物削減の推進	学校生活や日常生活の中で省エネルギー活動や廃棄物削減の取り組みを実践します。	1	校内放送やクラスでの委員会報告の中で、節電、節水の呼びかけを行った。	放送委員顧問 生活委員顧問	生活委員会 放送委員会	節電、節水に関しては、委員会報告を通して各学級に生徒から生徒へと伝えることができた。また、エアコンの適切な使用と、照明や扇風機など電気製品の使用後に確実に電源を切ることを徹底できた。 紙の使用に関しては、コピーミスを減らすための使用方法の説明、裏紙の利用とメールでのデジタル配信により、紙の使用量を減らすことができた。 基準服・学校ジャージに関しては、リサイクルを行ったが、今年度からの基準服のデザイン変更にともない、リサイクルの量は減った。	【取組の評価】 ■達成できた <input type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 委員会報告では、節電、節水について啓発することができた。教職員で電気製品のこまめな電源オフをすることができた。 【今後の課題】 省エネルギーの推進は行っているが、エアコン使用について気候と関連付けて考えなければならない。 【次年度への引継ぎ事項】 引き続き、学校全体で省エネルギーへの取り組みの強化を考えていく必要がある。メールによるデジタル配信を効果的に進めていく。
		2	印刷ミスやコピーミスを防ぐため、印刷機使用後のリセットを徹底した。	事務職員	教職員		
		3	裏紙印刷を行うことで、紙の使用量を削減した。	事務職員	教職員		
		4	基準服・学校ジャージのリサイクルを行った。	3年各担任 PTA 役員	3年生		
自然との関わり	植物の育成や自然とのふれあいを通して、子どもたちの自然を大切に育てる態度を養います。	1	一人一鉢栽培を行った。(1年生)	技術科教員	1年生	1年生はラディッシュの栽培を行った。定期的に成長記録を取り、栽培に活かした。 2年生は野外教室で鳴沢氷穴と富岳風穴、青木ヶ原樹海の散策を行った。この自然散策も含めて、野外教室のまとめの発表を、2年生が1年生に行った。 花壇において花苗の生育を行うとともに、花のネームプレートを作成した。	【取組の評価】 ■達成できた <input type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 野菜の栽培や花の生育や自然散策を通じて、自然を大切にする心を育てることができた。 【今後の課題】 全学年において、自然環境に対する理解を深められるような機会が必要である。 【次年度への引継ぎ事項】 今年度の取り組みを踏まえ、次年度の内容を企画していく。
		2	野外教室(2年生) 緑の休暇村でハイキングを行い、自然を感じるとともに、植物について理解を深めた。	2年各担任	2年生		
		3	学校敷地内の花壇において花苗の生育を行った。	事務職員	生徒		

